

留学体験レポート

1. はじめに

私は、約3カ月半の間 University of Central Missouri (セントラルミズーリ州立大学) に留学していました。このレポートでは留学先で学んだことや体験したことについて述べていこうと思います。

2. 大学について

セントラルミズーリ州立大学は、ミズーリ州のウォレンズバーグにある総合大学です。敷地がとても広くて建物の数が多いことに驚きました。また、施設が充実しておりゴルフコース、プール、体育館、スポーツジムなどがあります。体育館やスポーツジムは学生証を提示することで使用することができ、時々バトミントンをしたり走ったりするために行っていました。大学からすぐ近く場所に広くて使用しやすい図書館もあります。授業がこの図書館で行われることもありました。授業が行われる大学の教室はもちろん、このような施設も寮から割と近い場所にあるので生活がしやすかったです。

3. 食生活について

留学中は基本的に寮の近くにある、トッドと呼ばれるダイニングホールで食事をしていました。学生証を提示することにより決められた時間内ならいつでも何回でも食事をすることができます。大体がピザやハンバーガーなど留学に行く前に想像していたアメリカ！という感じの食べ物でしたが、中華コーナーなどもあり、お米も食べるすることができます。日本食が食べたいときも多々ありましたがビュッフェ式で種類豊富なのでそこまで飽きることはなかったです。他にも大学内にメキシカンやハンバーガーなどのファストフード店やカフェがありました。

4. 日常生活について

月曜日から木曜日までは午前9時から午後4～5時まで授業で空きコマはほぼありませんでした。途中から金曜日にも1コマだけ授業が入るようになりました。先生方はとても優しく親身な方ばかりでした。課題は毎日あり、そこにプレゼンの準備やテストが入るときもありました。課題やプレゼンをするときはノートパソコンを使用する場合はほとんどでした。なので、日本から持って行かずに大学から借りることもできますが、持っていくことをお勧めします。休日は友人と遊んだり課題をしたり買い物に行ったりと自由な時間を楽しむことができました。寮には料理をすることができる共有スペースや洗濯機、乾燥機を使用できる場所があります。洗濯はとても混むので朝早い時間や寝る直前、授業のない金

曜日のお昼などの空いている時間帯を狙ってしていました。休日や授業後に何度か大学主催の IEP でのイベントがあり、メジャーリーグを観戦したり映画館に行ったりミズーリ州の州都に行ったりと様々なことを経験することができました。

5. 日本とアメリカの違いについて

留学中に感じた日本とアメリカの違いはたくさんありました。例えば、ドアを開け自分が先に入らず、自分の後ろにいる人たちを先に通すような人が多くいました。細かい点ですが日本ではあまり見たことのない光景だったので驚きました。また、このような場面で必ずと言っていいほど多くの方が感謝を言葉にしていました。日本では無言で会釈をする人が多いような気がします。買い物に行くと大体の物のサイズが日本より大きくて面白かったです。また、公共のトイレはドアの下の隙間が広すぎて最初は慣れなかったし驚きました。いくつか印象に残ったことをあげましたが、他にも多くの違いを発見することができ、アメリカ文化を体験することができました。また、日本の良さについても改めて気づくことができました。

6. おわりに

留学中は楽しいことも大変なこともありました。最初は知らない土地で生活することに不安だらけでしたが、少しずつ慣れていくことができました。毎日が充実していて今までの人生の中で一番濃い3カ月半でした。留学に行かせてくれた両親や留学中にお世話になった先生方、日本での留学準備をサポートしていただいた先生方、クラスメイト、友人達には感謝の気持ちでいっぱいです。たくさんの一生忘れたくない経験をすることができ、本当に良かったです。この経験を糧にこれからも頑張っていきたいと思います。